

調査日時 2011年 11月 8日

企業訪問 CSR 調査質問票

企業名 羽後ガス株式会社

住 所 秋田県横手市婦気大堤字平林1-17

業 種 燃料販売

従業員数 15名

01 取り組んでいる社会貢献活動の事例について

①ある

事例 A **災害時におけるライフライン確保**

日頃から、供給機器等の保安点検や危険の早期発見に努め、顧客満足と安全確保について、万々に備えた体制づくりを全社員へ周知徹底し、ガス・灯油等の提供企業としての社会的責任と捉え、継続的改善に努めている。

事例 B **廃食用油の無料回収とエネルギーリサイクル**

当社製品をご愛用頂いている一般家庭や事業所から、検針時に使用済み食用油を無料回収し、所有の自動精製設備により BDF 燃料として再資源化して、自社の営業車両（ディーゼル車）の燃料として活用している。（4～5年前からの取り組み）

事例 C **住設関連企業との協働で料理教室を開催**

タカラスタANDARD様とタイアップし、ショールームを会場に開催。

事例 D **独り暮らし高齢者宅への安否確認**

遠隔地に住むご子息からの要請に対応し、検針時等に確認連絡している。
また、時には住まいの軽微な補修や交換作業にも快く対応している。

事例 E **環境説明会の実施**

当社を会場に年間3～4回実施しているもので、CO₂削減や高効率商品の提案を含め、環境に関する無料説明会を開催している。

事例 F **NPO 支援**

平成23年2月、NPO法人ゆめ協働隊との廃油リサイクルプロジェクトによる協働実践。同法人主催「ECO CANDLE NIGHT in かまくら」における食用廃油を活用して製造したエコローソクのPRイベントに協力。そのローソクづくりに食用廃油の提供とノウハウの提供協力を行った。

02 今後取り組みたい社会貢献はありますか？それはどんなことですか？

①ある

内容：当社が所有する BDF 自動精製設備を地元高等学校などに提供し、装置の仕組みや有益性の研究等、教材としての活用を薦めてみたい。(次世代を担う若者の育成のため)

03 NPO との協働について

1.協働したいNPOがあるか

②ない

現在のところ活動団体を認識していない。

2.協働したい分野があるか ある場合には分野に○をしてください。

①ある

1.保健・医療・福祉の増進 2.社会教育の増進 3.まちづくりの推進 4.学術・文化・芸術・スポーツの振興

5.環境の保全 6.災害救援 7.地域安全 8.人権擁護、平和の推進 9.国際協力

10.男女共同参画社会の形成の促進 11.子どもの健全育成 12.情報化社会の発展

13.科学技術の振興 14.経済活動の活性化 15.職業能力の開発・雇用機会の拡充の支援

16.消費者の保護 17.前各号に掲げる活動を行う団体の運営または活動に関する連絡、助言、援助

18.その他 ()

②ない

3.協働する場合、具体的な事業はあるか

①ある

①障がい者支援、あるいは高齢者福祉関連のNPO団体と、出来る事を模索してみたい。

例えば、食用油を使ったローソク作りや石鹸作りの就労支援と経済支援など。

②エネルギー資源開発に関する団体があれば、協働してみたいと考えている。

②ない

4.NPO から協働の申し出があった場合、協議したいと考えているか

①考えている

②考えていない (その理由：)

04 寄付について

①これまで

赤い羽根共同募金、ユネスコ協会、横手市社会福祉協議会、町内会の行事への寄付など。

②これから

今後も協力可能な範囲で協力していきたい。

企業理念について

最後に、御社の企業理念がありましたらさし支えない範囲でおしえてください。

(企業理念・経営理念・社是・その他_____) ←該当するものに○を。別紙添付も可。

【社 是】 「 感 謝 」

【社 訓】 1、広く早く聞く事
2、深く考える事
3、確実に協力し実行する事

対応者	担当部署	取締役部長		
	連絡先	0182-32-0727	お名前	讃岐 純子
記入者	所属団体	NPO 法人 秋田県南NPOセンター	名前	高橋 一親